学校番号	302

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	器楽（ピアノ）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	各専攻による教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ピアノ演奏の基本的な技術を身につけるとともに、楽曲を分析・理解する能力を養いましょう。
自分の音や人の演奏もよく聴き、素直な心で音楽と向き合い、音楽を感じることで豊かな表現力を身に付けてください。鍵盤楽器の魅力を感じたり、また関連をもたせながら自らの楽曲への思いを表現しましょう。
教材、指導内容はおよその目安で、各自の個性、能力等によって異なります。

2　学習の到達目標

器楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	器楽に関する専門的な学習を通して、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとしている。	器楽に関する専門的な学習を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽器表現を工夫し、表現意図を持っている。	器楽に関する専門的な学習を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	器楽に関する専門的な学習を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	個人レッスン 定期テスト	個人レッスン 定期テスト	個人レッスン 定期テスト	個人レッスン

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td>4～7月</td><td rowspan="3">独奏</td><td>練習曲の演奏他
・ツェルニー
50番
・モシュコフスキー
15の練習曲
・スカルラッティ ソナタ
等</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:曲想と楽曲の背景との関わりに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。

b:音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。

c:音楽表現をするために必要な奏法や呼吸法などの技能を身に付けている。

d:演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている。</td><td>個人レッスン
定期テスト</td></tr>
<tr><td>8月～11月</td><td>ピアノソナタの演奏
・ベートーヴェン
・モーツァルト
・ハイドン</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>個人レッスン
定期テスト</td></tr>
<tr><td>12月～2月</td><td>バッハ:平均律クラヴィーア曲集の演奏
・第Ⅰ巻・第Ⅱ巻より
プレリュードとフーガ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>個人レッスン
定期テスト</td></tr>
</table>